

勢小だより

平成30年2月23日
勢和小学校



アンケート調査へのご協力ありがとうございました！

先月実施しました保護者アンケート調査の集計結果をお知らせします。

今年度は、学校満足度に加え、保護者の方の意識調査もさせていただきました。お忙しい中、ていねいにお答えいただき、ありがとうございました。昨年度と同様、高い回収率であったことに深く感謝申し上げます。

保護者アンケート

回答 A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない

回答 A：「満足」または「かなり」 B：「概ね満足」または「少し」 C：「やや不満」または「あまり」 D：「不満」または「まったく」

	G1～G4：学校満足度、H1～H4：保護者意識、J1～J4：家庭での児童の様子	回答(人数)：未記入含まず				A+Bの割合
		A	B	C	D	A+B
G1	勢和小学校の教育に満足していますか？	74	111	5	1	96.9%
G2	勢和小学校の学校行事等に満足していますか？(PTA行事も含む)	64	110	16	1	91.1%
G3	勢和小学校の学習指導に満足していますか？	69	98	12	1	92.8%
G4	勢和小学校の生活指導に満足していますか？	55	122	15	2	91.2%
H1	子育てをする上で悩みや不安などはありますか？	14	104	60	14	61.5%
H2	学校行事やPTA活動に積極的に参加していますか？	68	102	19	2	89.0%
H3	お子さんの学習の様子を把握したり、必要な支援をしたりしていますか？	55	109	23	3	86.3%
H4	お子さんの生活習慣を整えたり、躰を大切にしたりしていますか？	84	95	1	0	94.7%
J1	お子さんは毎日元気に、楽しく過ごしていると思いますか？	174	60	8	0	96.7%
J2	お子さんは学校行事に前向きに取り組んでいますか？	190	40	11	0	95.4%
J3	お子さんは学習に前向きに取り組んでいますか？	110	102	24	4	88.3%
J4	お子さんの生活習慣は整っていますか？	95	113	32	0	86.7%

【考察及び対応】

学校満足度

全体としては90%以上のよい評価をいただき、私たちにとってたいへん大きな励みとなりました。ただ、例えば「SOCS等で様々な体験をして、個性を生かした教育がされている」と「個性を生かしてくれてない」等、学年やお子さんによっては、対照的なご意見もあり、これは学校全体としての取り組みがまだ十分でなかったことや、趣旨を十分お伝えできていないことが要因であったと考えています。来年度からは、新学習指導要領の移行期に入ります。本校ではそれに先駆けて5・6年生以外の3・4年生でも外国語活動の授業を始めたり、研修会で個々の職員の力量アップを図ったりしています。次年度に向けての具体的な計画にこれらの課題を位置付け、さらに努力していきたいと思っています。

< 記述によるご意見 >

記述していただいたことにつきましては、学校運営上の貴重なご意見として各担当で検討し、職員で共有いたしました。それぞれのお子さんにかかわるような個別のご質問ご要望につきましては、(お名前を書いていた方)可能な限り直接お応えするよういたします。全体にかかるものにつきましては、以下のようにお応えさせていただきますが、紙面の関係で不十分などところもあるかと思えます。その場合は、遠慮なく学校にお問い合わせください。

○ 土曜日の授業が減ったけど、学力的にはどんな感じですか？

土曜日の授業の回数は市町によってまちまちで、まったく行っていないところもあります。多気町では「土曜日の授業」は、地域の方々の支援をいただきやすい、保護者の方にも参加していただきやすい日に授業を行うことで、月～金とは違う特色を持たせた学習をすることを主な目的としています。本校では土曜日の授業に「授業参観」「親子行事」「発表会」を充てています。また、本校児童の学力につきましては先般お便りで概要をお伝えしたところですが、いわゆる「ペーパーテストの点数」と土曜日の授業の回数とは相関関係はほとんど見られないと考えています。今後も土曜日の授業の内容については、子どもたちや保護者の皆様にとって意義ある時間となるよう、毎年見直しを続けていきたいと思っています。

〇 **登下校時等、通学団の子どもの指導をもっとしてほしい**

ご承知の通り、本校は校区が旧多気町より広く、徒歩通学とバス通学の両方がある関係で、登校時は2か月に1回、下校時には毎月1回の指導を行っていますが、頻繁に職員が地域に出向いて指導することは困難です。そこで、多くのボランティアの方々にお世話になったり、地域によっては輪番で登下校の指導をしていただいたりしています。また、近隣の学校にはあまり例がないと思いますが、下校時は毎日、通学団ごとに運動場に集合させ（授業が早く終わる低学年は別下校の日がある）必要な時は担当の先生の注意を聞き、全体であいさつをして下校させています。また、気がかりなことがあった時にはスクールバスにも同乗して指導をしています。今後も、日々子どもたちの登下校の様子についてご意見をいただき、通学団の子どもたちへの指導や、各学年・学級での安全指導を続ける等の取り組みをしっかりとしていきたいと思っております。引き続き地域での子どもたちへの見守り・ご指導をよろしくお願いいたします。

〇 **あいさつができない子がいる**

いつでも気持ちの良いあいさつができる子どもがいる一方で、そうでない子どももいます。学校ではすべての学年で道徳や学活の時間に指導をし、子どもたちによるあいさつ運動も行ってきました。その結果、学校を訪れるお客さんからはお誉めの言葉をいただくことが多いのですが、学校外ではまた違う姿があるのも事実で、いつでもどこでも誰にでも…とは言い難いのが現状です。今後も指導を続けていかなければと痛感していますが、地域の中でのあいさつにつきましてはお家でも声掛けをしていただくようお願いいたします。

〇 **3学期制を希望します**

2学期制につきましては様々なご意見があると承知しています。2学期制と3学期制のどちらもメリットとデメリットがあります。多気町教育委員会ではその両方を検討して、町内で統一して現在の2学期制を行っています。今後も、その成果と課題を十分検討して必要に応じて改善していきたいと思っています。

〇 **ヘルメットをかぶらない子が多く指導してほしい**

本年度は、外部関係機関にも協力を要請して交通安全教室を実施しましたが、それでも、職員がヘルメットをかぶっていない子を見かけ注意することもあります。近年交通量が増え、危険箇所も増加していますので、日頃の指導に加え、夏休み冬休み春休みなどの長期休業の前には、全校集会や各学級でも注意をしています。今後も交通安全指導を徹底していきたいと思っております。(低学年で、自転車の練習を初めてされるお子さんは、その時から習慣づけていただくとよいと思っております)

〇 **子ども同士のトラブルについて**

子ども同士で、けがや友達関係のこじれ等があった場合は、その対処や解決を最優先します。その後、必要に応じて双方の保護者の方へ報告させていただいています。ほとんどの場合は、保護者の方同士でも連絡を取り合っていたり、家でもお子さんに話をさせていただいています。また、その時のお子さんの様子も学校にお伝えいただき、学校と家庭が連携して対応していきたいと考えています。

〇 **運動会を日曜日にしてほしい**

日曜開催の場合は、予備日が次の日の平日もしくは1週間後の土・日になってしまいます。運動会を1週間延期すると、準備物をそのまま1週間出したままにせざるを得ないことや、子どもたちの演技も、忘れないように練習を1週間続けていかなければなりません。また、時期も町や地域等の催し物の関係で、どうしても9月の秋分の日あたりの土曜日の開催になりますのでご理解願います。

児童アンケート

回答 A:よくあてはまる B:あてはまる C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない		昨年との比較: 〆 ↓			
アンケート項目	回答(人数)				A+Bの割合
	A	B	C	D	A+B
1 学校は楽しいですか。	167	90	16	3	93.1% 〆
2 あなたはこまった時に、先生や家族など大人の人に話していますか。	115	99	49	13	77.5% ↓
3 授業はわかりやすいですか。	161	89	22	6	89.9% 〆
4 人の話を、しっかりと聞くことができますか。	109	136	26	5	88.8% 〆
5 人のいやなことを言ったり、したりしないよう気を付けていますか。	132	110	29	5	87.7% 〆
6 あなたは、いっしょにけんめいできたことや、がんばったことがありますか。	192	71	12	1	95.3% 〆
7 友だちが、やさしいな、がんばっているなと思ふことがありますか。	219	42	13	2	94.6% ↓
8 だれどでもあいさつすることができますか。	136	110	23	7	89.1% 〆
9 あなたは、安全に気を付けて、きちんと並んで登下校することができますか。	144	98	24	10	87.7% ↓

◎『よくあてはまる』+『あてはまる』が90%以上・・・9項目中3項目 ※数字は質問番号

1：学校は楽しい 6：一所懸命できた・頑張ったことがある 7：友達はやさしい 頑張っているなと思う

●『よくあてはまる』+『あてはまる』が80%未満・・・9項目中1項目

2：困った時に、先生や家族など大人の人に相談できる

【考察及び対応】

全体を見ると、A+Bの割合が8項目で85%以上になり、6項目が昨年より良い結果になりました。「学校は楽しい」と感じ、「友達とかかわり合いながら一所懸命頑張っている子」が多い状況です。

ただ、昨年同様、約2割を超える子どもたちが、「困った時に大人の人に相談できない」としています。保護者の方のアンケートでも4割の方が子育てに不安を持ってみえます。子どもたちは不安を言葉で伝えてくれない場合もあります。学校ではいつも、子どもたちの心のサインを見取るように努めていますが、それでもわからない場合もあります。ご家庭でも中・高学年にもなるとなかなか話してくれないこともあります。子どもたちの困りごとは、「勉強がわからない」というのもあるでしょうが、多くは友達関係等の「人と人との関係づくり」です。担任だけでなく、職員全員で一ひとりの子どもとの「対話」を大切にするとともに、保護者の皆様ともお子さんの様子を共有させていただき、どの子どもも安心して生活できるよう、取り組んでいきたいと考えています。